

# 松村政信・中央公民館長に聞く



西宮の公民館は、市民主体の運営を心掛け、市民のパワーを引き出すことに力を尽くしています。そのためにどんな工夫をしているのか、今後の課題は何か、などについて、松村政信・中央公民館長にインタビューしました。

そもそも、公民館の果たす役割とは何でしょうか。

公民館は、福祉や家庭教育、人権・同和問題などを住民と一緒に考えていくための社会教育の核施設です。

西宮市は住民の自主的な相互学習をそれぞれの地域の課題の解決に役立てようと昭和五十二年、地元で選ばれた推進員が先頭に立ち、地域に必要な講座を企画運営する「公民館活動推進員会制度」を、全国に先駆けて立ち上げました。

今年四月には、推進員会の主体性を高め、より時代にあった講座を開くため、選択テーマを広げるとしています。市民のパワーが求められるところがあります。市民パワーを引き出しているモデルケースはあるでしょうか。公民館を定期的に利用し、自主学習を進める公

## 講座で学び 地域活動豊かに

「公民館グループ」があります。今、約七百二十の登録グループがあります。中でも注目したいのが、公民館の講座で学んだことを地域の活動に生かしているグループです。手話や要約筆記、託児などの講座で学び、講演会や各種の講座などで、ボランティアとして地元で活動している方がたくさんいます。

西宮の公民館活動について話す松村政信・中央公民館長

## 子ども中心に積極参加期待

「いろいろな年代の人と交流したい」「子ども向けの講座がほしい」など様々な意見をもらっています。「幼児教育」などの講座には若い母親の姿が多く、今後は、さらに「親子でクッキング」といった講座を増やします。また、父親にも足を運んでもらおうと企画した父親向けの幼児教育講座も、定員の数倍の申し込みが殺到するなど、関心の高さがうかがえます。

子どもが来やすい環境を整えることにも力を入れています。託児サービスなど、若い方々が来やすい環境を整えることにも力を入れています。公民館の今後は新しい取り組みとして、関係機関や民間団体などと連携した事業を展開します。

各公民館での単発的な推進員会講座から発展し、継続的に自主的な学習を続けている「公民館グループ」があります。地域の住民同士が学習に励む場として、生活に欠かせない存在になっています。



季節の創作料理に取り組む「メイ・クッキング」メンバー。西宮浜公民館

## 和気あいあい 創作料理作り

### メイ・クッキング

が、皆さんがかわるがわる面倒を見てくれるので安心」と笑顔を見せま

西宮浜公民館には、二カ月に一度、三十、四十歳代という幅広い年齢層が料理作りに取り組む公民館グループ「メイ・クッキング」があります。栄養士の指導で、カボチャあんのおはぎやサンマのごま焼、秋ナスの白みそ煮など季節の食材を使い、栄養バランスの取れた創作料理を作ります。

「急激な情報化の進展の中で、特にお年寄りなどいわゆる情報弱者向けのIT講座も検討しています。」

また現在も託児ボランティア養成講座などを実施していますが、さらに多くの方に、ボランティア活動に目を向け、積極的に参加してもらうよう、ボランティアの育成にも力を入れていきます。

方々一人一人です。公民館で開かれる講座で学んだ住民が仲間をつくり、自主的な学習を深め、地域活動に生かすのが理想的な流れです。市内には七百を超える公民館グループがあり、その流れが広がることでまち全体を変えていく大きな力になってほしいと思います。

## 公民館から 広がる文化

### ビギン・ザ・美銀

音楽療法をテーマに、神原公民館を拠点に活動する「ビギン・ザ・美銀」。

発足のきっかけは平成十年と翌十一年に開かれた音楽療法の講座です。参加者の表情が本当に生き生きと輝いていました。



毎月第二土曜日の午前中、六十歳から八十五歳

## 表情いきいき 音楽療法講座

までのメンバーが集まり、歌謡曲や童謡などの合唱を楽しみ、カステネットやタンバリンを一生懸命にたたきます。

音楽活動だけでなく、グループで花見やクリスマス会を開いて親ほくも深めています。梅井さんは「回を重ねることにみんな元気になるようになっていくのが分かります。この生きがいづくりこそが、地域への貢献と信じています」と強調します。

音楽療法に取り組む「ビギン・ザ・美銀」のメンバー

### 西宮市の公民館の歩み

- 昭和22年 鳴尾小学校内に鳴尾公民館を開館
- 昭和24年 公民館運営審議会が発足。成人教育講座が始まる
- 昭和26年 社会教育委員会設置
- 昭和38年 公民館活動協力員制度が発足
- 昭和43年 第17回全国公民館大会を西宮市で開催
- 昭和52年 公民館活動推進員会制度が発足。東西2ブロックの公民館体制に
- 平成4年 上ヶ原公民館開館。全中学校区単位に公民館が設置された
- 平成7年 阪神・淡路大震災発生。公民館も被害を受け、同時に避難所となる
- 平成10年 全国生涯学習フェスティバルを兵庫県で開催。西宮市も参画
- 平成12年 中央公民館をプレラにのみや内に移転。中央公民館が22地区公民館を統括